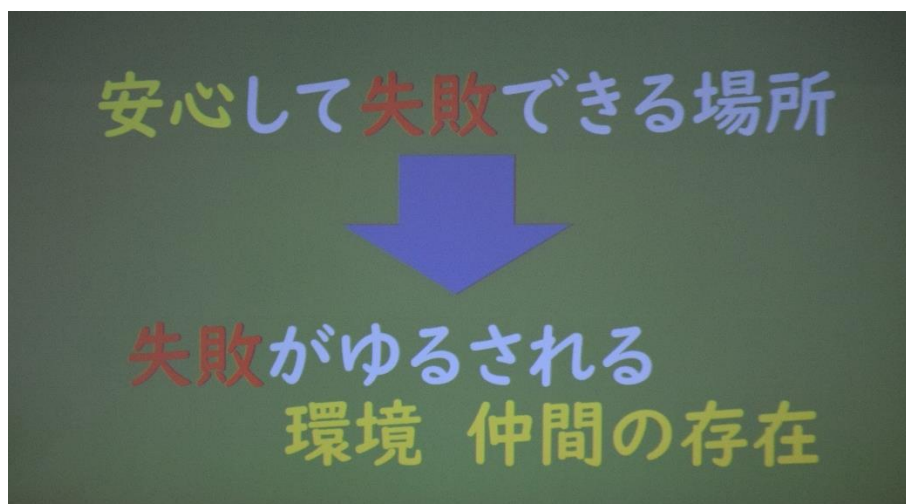


◇前期終業式 ～101日間を振り返りました～

最初に、校長先生が、クイズを出されました。
さて、どんな言葉が入ると思いますか？



答えは・・・



『学校とは、「乗り越えるための力」を身に付ける場所。

過去は変えられる。失敗は、次に生かせば貴重な経験となる。

ビンゴクエストのときには、勝っても負けても「えーっ」と言いながら、互いを受け入れ合い、とてもよい表情で楽しんでいました。そういうみなさんなら、「安心して失敗できる学校」を、創っていけそうで楽しみです。』というお話をさせていただきました。

- 生徒会長の山本さんからは、
- ・体育大会の取組の様子を振り返り、「互いの思いを語り、思いを受け止め合う」ことで、輝く姿を創ってきた。
 - ・『川中4本柱』を日常から大切にし、高める活動・よさを広める活動をしてきた。そして、全校で伝統を高めてきた。
 - ・課題としては、
6大委員会キャンペーンの結果をどの学級も受け止め、課題となる部分は、必ず改善していこう!!



そして、

「継続は力なり」本物の姿を求めて、輝く後期のスタートをきろう!!

という話がありました。



安心して失敗できる学校、生活の中で、
『じぶんを大切に・なかまも大切に』していくことで、みんなの表情が輝いていくことでしょう。

後期は、1・2年生が101日、3年生は90日です。

後期も、本物の姿を求めてがんばっていきましょう。

式の後、3年生の学年合唱発表がありました。
3年生は、4月から「証(あかし)」という曲に取り組んできました。



この半年間、3年生のフロアからは、毎日欠かさず、歌声が聞こえてきました。合唱の取組も、決して順調に進んできた訳ではなく、それぞれの課題を明確にし、それを克服するために、こつこつとがんばってきました。まさに、「継続は力なり」です。

この日の合唱は、この3年間の中で、1番よい合唱でした。課題を克服し、この素晴らしい合唱を創ることができたことに、どの子も大変満足したことと思います。また、聞いていた1・2年生のみなさんも、ぐっと心に響いたことだと思います。

3年生のみなさんは、目には見えにない伝統を引き継ぎ、3年生にしか表せない「証(あかし)」を示してくれました。明日から、90日後の卒業式に向けて、また、歩み始めます。3年生が、どんな思いを学年で共有し、何に向けて、どのように高まっていくのか。卒業式がとても楽しみになってきました。

